

# 『Invitation to Early Spring』 寸評

- ・ m.1-2 イントロダクションのつけかたが上手い
- ・ 編成が大きくてもディナーミクに整合性がある
- ・ ホルンパートに古典派シンフォニーを研究した跡がみえる
- ・ m.3-6 ファゴットの刻みが軽やかで効果が高い
- ・ タイトルもまさに適切

完成度をさらに上げるために

- ・ Timpani で通常用いるのは    
 ↑多用しない方が良い ↑むり

・ オーケストラなのでチェロと同じ譜面でコントラバスも加え、弦楽五部にするとよい

・ m.10-11 チェロ pizz. にして変化をつける

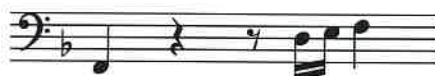
・ m.12 b.2 ファゴット 四分休符でよい

・ m.15 b.3 Fl. 四分音符でよい

・ m.1-2 すこし和音を変えてみる



・ m.4 チェロにも少しかざりを



・ ファゴットが正式名称なら略称も Fg. 略称が Bsn.ならバスーンを正式名称に  
そろえるとなおよい

・ 和声とともにベースの工夫がさらにすすむとより個性が打ち出されてくるはず

m.=measure 小節番号のことです。  
b.=beat 拍のことです。

たいへんよかったです。

持魔 勉